

新宮山彦ぐるーぷ第2065回

### 行仙宿巡回整備

◇実施日…2020年1月18日(土) 曇り後晴

◇参加者…児嶋道夫、濱野兼吉、生熊敏男、梶野照雄。

4名

沖崎代表が風邪で体調が悪く、急遽生熊さんが参加してくれることになった。午前7時30分に沖崎さん宅を出発し児嶋さんを乗せて下北山に向かう。

宮井大橋をすぎて国道169号線花井(けい)に設置されている温度計は2度。この冬一番の冷え込みである。不動トンネルから下北山に入り山間の奥の山は白く雪化粧をしている。昨夜の雨は大峯山系では雪となった模様。国道425号も雪はなく順調良く登り詰める。林道にはいると少し雪があつて、何台かの自動車の轍が残っている。補給路手前の林道で法面補強の工事で、いまネットを張る作業が行われていた。



林道法面工事中



登山口到着



花と線香を供える

登山口には梶野さんが先に着いていて、私たちも車から荷物を降ろしモノレールに積み替える。梶野さんと生熊さんはモノレールで、児嶋さんと私は徒歩にて登る。川島さんが亡くなった現場に児嶋さん持参の花を供え、線香を手向け全員でご冥福を祈る。モノレールの終点で背負子に角形ペール2個を載せて行仙小屋に向かう。雪はこの辺から数センチ積もっていて、第二ベンチ付近から見渡す周辺の山々は白銀の世界。高圧電線の張り替え工事のため雑木が伐採され視界が良くなり、大台ヶ原方面がくっきり見え、東に目を向けると雲の下に熊野灘も海面が金色に輝いている。



第2ベンチ



眺めの良くなった伐採地



熊野灘

私は笠捨山や茶白山等の山々を写真に納め随分遅れて小屋に到着する。玄関前の温度計はマイナス1・5度。小屋内は0度。各自、早速仕事にかかる。梶野さんスコップで雪を払い小屋周辺の通路を作り、屋根に備え付けた太陽光発電と屋根の雪を下ろし始める。しかし危険なためロープを張って作業を再開するが、途中で止める。



行仙宿に到着



屋根のソーラーパネル



生熊さんは行者堂と管理棟の整備。児嶋さんは作業小屋内の整理をし、水場の点検いく。私はトイレの段ボール箱をペールに取り替え、使用済みのトイレトーパーを焼却する。あと小屋内の仕事は生熊さんにまかせ、梶野さんと私は水場に下る。



水場は回復している

注連飾りなど撤去

先に水場に行った児嶋さんに出会うと水場には毎秒50CC位落ちてきているとのこと。梶野さんは雪解け水なので、雨と違いゆっ

くり浸透するから一気に洩れることはなさそうだと教えてくれる。水場はきれいで水も順調に流入し、凍ることもなく湛えているので小屋に戻る。

小屋では生熊さんがストーブに火を入れ室温は5℃に上昇、暖かい。各自弁当プラスチックカップラーメンにお湯を注ぎ昼食。ストーブの上で正月飾りの餅を焼いていただく。食後はカフェこじまがオープン。チョコレートを食べながら談笑する。

午後からは正月飾りの注連縄等はずし、行者堂も整理。記念撮影をして下山。今回は前夜の雪が素晴らしい雪景色を演出し、特別な作業もなく気楽な行事であった。こういうこともあってもいいだろうと思った一日であった。補給路登山口にて解散。



小屋内は5℃に



本日の参加者



白くなった笠捨山

(記：濱野・写真：梶野)

### 行動タイム

登山口09:10→10:02行仙宿→10:58水場→11:30行仙宿12:55  
↓13:25登山口